

結の会だより

No.16
令和3年6月発行
NPO 法人 結の会
宇和島市三間町
増田 20
TEL/FAX
0895-20-7128
E-mail
yui7128@ybb.ne.jp
URL
http://yuinosato.com/
ゆいの里 よもぎ湯
で検索



イベント

例年なら、研修旅行やイベントなど楽しい企画がたくさんあるのですが、昨年は、新型コロナウイルス感染症の予防の観点から、外に向けての活動はなかなか開催できませんでした。8月に、一度だけ買い物訓練ということで、希望者だけで大洲方面に出かけてきました。写真は、ゆいの里・つなぐ合同バーベキューです。6班に分かれてそれぞれのバーベキューコンロを使ってお肉に焼き鳥・ウインナーとおなか一杯食べました。毎年恒例のホルモン焼きそばも大盛況。職員のOさん、ねじり鉢巻きで頑張ってくれました。作るのが間に合わないほどでした。



クリスマス会も、いつもとはちよつと違った趣向で開催。まず、お昼に美味しいクリスマスランチをいただきました。メニューは、タンンドリー・チキンのピラフ・ミートローフ・エビフライ・ポテト・コーンスープ付き。調理職員の愛のこもった豪華ランチでした。その後、また少し作業をして、2時半から、ビンゴゲーム大会。今年も、理事の安岡さんからケーキをいただいたので、ティータムを楽しみながら、ビンゴゲーム大会で楽しみました。ゲームが始まると、みんな真剣な表情で、画面の数字と自分のカードを照らし合わせます。そのうち、次々とリーチに。ビンゴになった方から思い思いの景品を手に入れました。欲しかった景品ももらってにっこり。楽しい時間を過ごすことができました。今年度も、外に向けての活動は難しいと思いますが、施設内でのプチイベントなどは開催していこうと計画しています。毎月担当職員、知恵を絞った企画をお楽しみに。



つなぐ 段ボール回収始めました

『今日はどこに段ボールを取りに行くの?』と利用者さんの声。『今日は二名郵便局と三間郵便局に取りに行くよ』と伝えると、『いっぱいあるかな?』と不安交じりの返答。郵便局や古川工務店さん等の協力により毎月2回程程集まるようになりました。



つなぐ 郵便局無人販売

宇和島寄松郵便局での無人販売を3月からスタートしました。利用者さんが作られたアイロンビーズやハーバリウムを販売しています。売れていた商品を報告すると『うれしいね』と笑顔になり皆さんの楽しみとなっております。



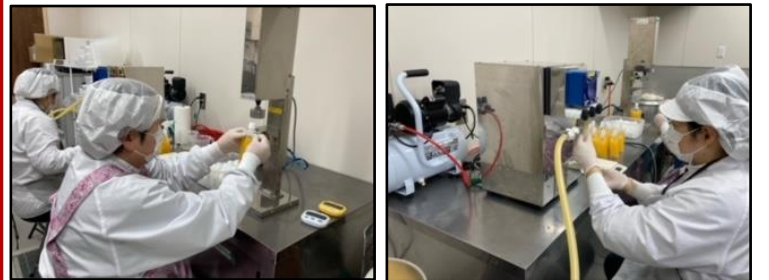
機械浴の機器設置

令和2年12月に人材確保等支援助成金を活用させて頂き、つなぐに機械浴の機器の設置ができました。入浴支援は、利用者の方々の転倒などの事故のリスクもあり、介助者の介助技術、腰痛等の身体的負担のかかる支援になります。今回、機器の設置に伴い、身体的な理由で、入浴に危険や不安の高かった方に、より安心・安全な入浴を提供できるようになりました。また、介助者の身体的な負担もとても軽減されました。



機械化しました

昨年、前川報恩会様より、液体充填機と半自動キャッパーを助成していただきました。これまでの簡易充填機と、人力でのキャップ閉めから比べるとぐんとスピードアップができるようになりました。課題であった、増産が可能になり、ゆいの里のゼリーだけでなく、農家さんからの委託のゼリーも受注できるようになりました。加工場の半分がゼリー製造のラインに。最初は戸惑ったメンバーさんも、すぐに操作に慣れ、器用に使いこなせるようになっていきます。



防災訓練とシェイクアウト訓練

年に2回の防災訓練。避難訓練と消火訓練を実施しました。水消火器を使った訓練に全員が参加しました。また、12月には、シェイクアウト訓練に参加。どちらも真剣に取り組みました。机の下に隠れるのわかりますか?



便利クロス

いつも、委託作業でお世話になっている『葉月』様より、便利クロスをいただきました。委託作業でお邪魔した時に、菊の収穫に使われていたのを見た職員が、よもぎの収穫にも使えるのでは?と思い、いろいろお聞きしたところ、進藤社長様より寄贈していただくことになりました。当日は、社長自ら、ゆいの里まで届けてくれ、記念写真まで撮らせてもらいました。今年のもぎ収穫に使わせていただきます。ありがとうございます。



愛媛県生産活動活性化支援事業

新型コロナウイルスにより売り上げが低迷したことで申請させていただきました。乾燥よもぎの需要は、まだまだ期待できるので、栽培面積を増やしたい...でも草の処理が大変!!除草剤は使えない。そこでこの草刈り機の出番です。自走式なので、従来の草刈り機に比べ作業が楽になります。刈りながら、草を細かく砕くので後処理が格段に早く。また、よもぎ収穫時には、作業機を付け替えることによって、収穫するよもぎを同じ方向に刈倒すことができます。機械化することによって作業効率が上がり、作業の負担軽減も期待できます。今後、上手く使って、収穫量アップに繋げていきたいと思えます。



新職員紹介

知花 尚子さん・昨年10月から加工場のパート職員として働かせていただいています。生まれは新潟、夫は沖縄縁あって三間で暮らしています。皆さんと一緒に働けることが嬉しいです。これからもよろしくお願ひします。松本 貴広さん・今年1月から外作業班で勤務しています。自分がいたってきた、暖かさや喜びを忘れずに皆さんと一緒に頑張っていきます。今西 光一さん・5年振りにゆいの里に戻ってきました。生活介護『つなぐ』の職員として皆さんと楽しく過ごしていきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

あとがき

本当に、大変な一年でした。新型コロナウイルスによる新しい生活スタイル。マスク着用は当たり前。手洗い・消毒も...これまでの人生で一番手を洗った年。いろんな制限のなかでの日常生活は、慣れたようでも大変ですね。そんな年にスタートした『つなぐ』ですが、早いものでもうすぐ一年を迎えます。春からは、メンバーさん職員ともに新しい方が増えにぎやかになっています。『ゆいの里』は、まもなくよもぎの収穫が始まります。早すぎる梅雨入りですが、予定収量が、採れますように...。コロナ禍ではありますが、楽しみも取り入れ、メンバーさんが安心できる場所として活動できるように支援ができればと思います。皆様、今後とも結の会に、変わらぬご支援をいただきますようお願いいたします。